



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎嵩

2007-2008 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 クラブテーマ ロータリーを磨こう、そして一步向上しよう!

- 本日の例会 会長の日 クラブ協議会(クラブ総会)
- 次回例会予定 8日(火) 卓話 イジーシュトルンツ氏
- 6月10日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告
- ロータリー財団寄付 井田 泉君、鈴木万佐夫君、佐藤 良隆君
- 米山奨学会寄付 柳澤 佳雄君、関口 朋克君、鈴木万佐夫君

本日は三井田年度にご苦労頂いた各委員会委員長さんより退任の挨拶を頂きました、大変ご苦労様でした。



▲佐藤財団事業担当



▲吉村雑誌担当



▲栗原米山事業担当



▲中森国際奉仕クラブ活性化委員担当



▲遠藤監査役



▲橋爪会員組織委員長



▲飯嶋出席担当



▲鈴木プログラム担当



▲森本ニコニコBOX担当



▲金井奉仕プロジェクト委員長



▲高木SAA



▲関口ロータリー財団担当



▲井田会計担当



▲小島広報委員長



▲竹内クラブ会報担当



▲宮田ロータリー情報担当



▲嶋方職業奉仕担当



▲大嶋新世代奉仕・地区新世代奉仕担当

■論語より■

子曰く、未を生を知らず、焉んぞ死を知らん。

あるとき弟子の子路から「死」についての質問があった。すると孔子は「生についてもわかっていないのに、どうして死のことなどがわかるか」と答えられた。

生きるということは、ただ飯を食って生活しているだけでは、生きているとはいえない。何のために生きているのかを考え、それを実行することが大切なのだ。死のことなどを考える暇があったら、今いかに生きるかを考えよと、弟子にさとしたのである。

※「声に出して活かした論語70」 三戸岡道夫より抜粋



出席報告 (6月10日)

会員総数	34
出席計算会員数	31
当日出席者	25
会場出席率(%)	80.65

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
 TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
 例会 / 毎週火曜日 18時30分
 E-mail: takasaki-cent@rid2840.jp